

- 問1 現代の経済活動において中心的な役割を果たす株式会社と、その出資者である株主の関係や制度について述べた文として、最も適切なものはどれですか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|---|
| 1. 株主が受け取る利益の分配は、所有している株式の数に関わらず、すべての株主に対して一律の金額が支払われるよう法律で定められている。 | 2. 株主は株式を購入することで企業の経営者に選任されたことになり、日常の業務執行に従事する義務と、赤字を補填する無限の責任を負う。 | 3. 株主は会社に出資を行い、その見返りとして利益の一部を受け取る権利を持つが、会社が倒産した際の責任は出資額の範囲内に限定されている。 | 4. 株主は会社に対して資金を貸し付けている立場であるため、企業の業績が悪化した場合でも、あらかじめ決められた一定額の利子を受け取ることができる。 |
|---|--|--|---|
- 問2 1980年から2020年までの統計において、雇用者の共働き世帯が「男性雇用者と無業の妻からなる世帯」の数を大きく引き離して増加している要因として、現代日本の社会的な背景を説明したものとして最も適切なものはどれですか。 (2023年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
| 1. 性別を問わず社会で働ける環境の整備や、人々の意識の変化が進んだこと | 2. 第一次産業に従事する世帯が急増し、家族全員で農業を行う形態が主流になったこと | 3. 専業主婦世帯に対する増税が行われ、家庭での育児が困難になったこと | 4. 終身雇用制度が以前よりも強固になり、男性一人の収入で家計を支える世帯が増えたこと |
|--------------------------------------|---|-------------------------------------|---|
- 問3 労働者は雇い主に対して立場が弱くなりやすいため、国は法律によって労働条件の最低基準を定めています。この法律において、労働時間や休日などの条件はどのように決定されるべきであると規定されていますか。 (2023年 埼玉県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
| 1. 国がすべての業種に対して一律の労働内容を決定する | 2. 労働組合の代表者が、使用者の同意を得ずに決定できる | 3. 労働者と使用者が対等の立場に立つて決定されるべきである | 4. 企業の経営状況に基づき、使用者が一方的に決定できる |
|-----------------------------|------------------------------|--------------------------------|------------------------------|
- 問4 家計と企業の経済的なつながりについて、労働と対価の流れを説明した文として最も適切なものはどれですか。 (2023年 長野県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 家計が銀行に貯金した際に得られる利子は、家計が企業に労働を提供したことに対する直接的な報酬である。 | 2. 家計が企業に労働を提供することで得られる賃金は、家計が消費活動を行うための資金源となる。 | 3. 家計が企業に提供した労働の対価として支払われるものは、企業の利益の一部である配当と呼ばれる。 | 4. 企業は家計から労働力を受け取りますが、その対価として支払う賃金は、家計が企業から商品を購入した代金と同額でなければならない。 |
|--|---|---|---|
- 問5 日本の労働環境において、正規雇用（正社員）が非正規雇用と比較して持っている、働き手にとっての大きな利点について述べたものとして正しいものはどれですか。 (2017年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--------------------------------------|
| 1. 仕事と私生活の調和を図るワーク・ライフ・バランスを最も重視した契約であること | 2. 雇用期間の定めがなく、長期間にわたって働き続けることができる安定性があること | 3. 景気の変動に合わせて、企業側がいつでも人員調整を行える柔軟性があること | 4. 仕事の内容や量に応じて、働く時間を自分の裁量で自由に決められること |
|---|---|--|--------------------------------------|
- 問6 近年の日本では、個人の能力や仕事の実績を重視する「成果主義」を導入する企業が増えていますが、これによって見直されつつある、年齢とともに賃金が上昇する従来の日本的な賃金制度は何ですか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|---------|
| 1. 年功序列 | 2. 正規雇用 | 3. 終身雇用 | 4. 労働組合 |
|---------|---------|---------|---------|
- 問7 すべての労働者が人間らしい生活を営むことができるよう、賃金や労働時間、休日などの「労働条件の最低基準」を定めており、使用者にその遵守を義務付けている法律はどれか。 (2019年 北海道公立入試 類似)
- | | | | |
|------------|--------------|----------|----------|
| 1. 労働関係調整法 | 2. 男女雇用機会均等法 | 3. 労働組合法 | 4. 労働基準法 |
|------------|--------------|----------|----------|
- 問8 現代の経済において最も一般的な企業の形態であり、株式を発行して広く社会から資金を調達し、事業で得た利益の一部を出資者に配当として分配する仕組みを持つ組織を何というか、最も適切なものを選びなさい。 (2015年 岡山県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------------|---------|---------|
| 1. 株式会社 | 2. 非営利組織（NPO） | 3. 個人企業 | 4. 公営企業 |
|---------|---------------|---------|---------|
- 問9 現代日本の企業の状況について、従業員数の構成から分析した次の説明のうち、小売業の実態を正しく述べているものを選択してください。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|--|
| 1. 製造業やサービス業と比較して、中小企業に勤務する従業員の割合が最も低い。 | 2. 卸売業と比較して、中小企業に勤務する従業員の割合が約10%以上高い。 | 3. 全従業員のうち中小企業に勤務する人の割合が、製造業の65.3%を上回っている。 | 4. 他の主要業種と比較して大企業の従業員占有率が低く、中小企業が中心となっている。 |
|---|---------------------------------------|--|--|
- 問10 株式会社の仕組みにおいて、株主と役員の関係および役割を説明した記述として、最も適切なものはどれですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
| 1. 取締役会は株主を監督する機関であり、不適切な出資を差し止める権限を持つ。 | 2. 監査役は株主の代表として、株主総会において日々の業務執行を直接行う。 | 3. 株主は株主総会を通じて取締役を選任し、経営の基本方針を決定する権限を持つ。 | 4. 従業員は最高意思決定機関として、取締役の報酬や配当金の額を決定する。 |
|---|---------------------------------------|--|---------------------------------------|
- 問11 労働三法の一つである労働組合法の主な目的や役割として、最も適切な説明はどれですか。 (2021年 福島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|---|---|
| 1. 労働者と使用者の間で労働争議が発生した際、労働委員会などが介入してその解決を助ける。 | 2. 賃金や労働時間、休憩、安全衛生など、労働条件に関する最低限の基準を定める。 | 3. 労働者が失業した際に、生活の安定や再就職の促進のために必要な給付を行う。 | 4. 労働者が団結して組織を作り、賃金の引き上げなどの条件を求めて使用者と交渉する権利を保障する。 |
|---|--|---|---|
- 問12 労働基準法において、18歳未満の年少者や産後1年以内の女性に対して、深夜業や危険有害な業務への従事が制限されている主な理由は何か。 (2021年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
| 1. 高齢者の雇用機会を優先的に確保するため。 | 2. 経験の浅い労働者が高い賃金を得ることを防ぐため。 | 3. 労働組合への加入を促進し、団体交渉力を高めるため。 | 4. 心身の健全な発達を促し、健康や安全を保護するため。 |
|-------------------------|-----------------------------|------------------------------|------------------------------|
- 問13 日本国憲法第28条では、労働者が使用者と対等な立場で労働条件の改善を求めるために「労働三権」を保障しています。このうち、労働者が労働組合を結成し、賃金の引き上げや労働時間の短縮などについて使用者側と話し合いを行う権利を何といいますか。 (2020年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|---------|----------|
| 1. 団結権 | 2. 団体交渉権 | 3. 知る権利 | 4. 団体行動権 |
|--------|----------|---------|----------|